

Rotary



Weekly Bulletin Vol.69 No.13 2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック 泉大津ロータリークラブ(創立1956.5.4)

週報 第3264回

会長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達
幹事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2024年10月11日) 第3264回

■ プログラム

卓話担当 今井 克範 会員

■ 次週のプログラム

10月18日: 定款の規定により例会休会

■ 今後の予定

・10月25日: 卓話担当 泉谷 仁博 会員

■ 祝 誕生日

森口 和信(13日)

■ 今月のロータリーソング

手に手つないで

今月の歌

ふるさと

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと

■ 先週の例会



会長の時間 渡辺 万寿 会長



【10月24日の世界ポリオデーに向けて】2024年10月号財団室NEWS地域社会の経済発展月間より今年も世界ポリオデー(WPD)が巡ってきます。ロータリーはポリオ根絶活動を通じて、協力することの力を世界に示してきました。一緒に行動を起こすことで、ポリオのない世界を実現できます。

ポリオ撲滅活動への支援 ステファニーA.アーチックRI会長

『テーマ講演での一部抜粋』

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。

これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ロータリー、ガザでのポリオ対応に資金援助

By 国際ロータリー

最近、ガザで環境サンプルから変異型ポリオウイルス2型が検出され、10カ月の子どものポリオ感染が確認されたことは、ポリオが世界のどこかに存在する限り、全世界の脅威であることを明確に示しています。ガザで起きている危機は、定期予防接種率の低下およびワクチンで予防可能な疾病(ポリオもその一つ)のリスク増加の一因となっています。

また、ポリオのサーベイランス(監視)と予防接種キャンペーンの完全実施にも大きな課題をもたらしています。特に現在の状況が公衆衛生サービスに

与える影響を考えると、このポリオ株がガザ内および国際的に広がるリスクが高いと世界保健機関(WHO)は考えています。

戦闘の人道的一時休止により、9月1日にガザで2回にわたるポリオ予防接種キャンペーンが開始されました。最初の報告によると、キャンペーンは順調に開始され、地元住民も高いレベルの参加を示しています。

ロータリーは、このイニシアチブの支援のために50万米ドルを約束し、専用のポリオ対応基金を通じてこの資金を提供しています。この寄付は、世界的なポリオ根絶活動におけるWHOへのロータリーの継続的な支援を表しています。ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体やそのほかの機関とともに、予防接種の取り組みを継続していきます。ポリオプラス基金へのご寄付は、ロータリーとGPEIのパートナー団体が、いかなる子どももポリオによるまひに苦しむことのない世界を実現するために活用されます。

《世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)は、世界保健機関(WHO)、国際ロータリー、米国疾病対策センター(CDC)、国連児童基金(UNICEF)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンスの6つのパートナーとともに、各国政府が主導する官民パートナーシップです。その目標は、世界中のポリオを撲滅することです。》

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト:GPEIウェブサイト(英語)

		2024年 1月1日～ 9月26日	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	21	6	20	1
	アフガニスタン	19	6	2	4
非常国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		40	12	30	6

幹事報告

松内 俊夫 副幹事

- 本日皆様のメールボックスに、「2024～2025年度前期会費納入のお願い」、「ロータリーの友10月号」、「ロータリー米山記念奨学事業豆辞典」を入れさせていただいております。
- 11月開催の地区大会の参加申し込みの期限が本日までです。参加、不参加の返信がまだの方はご連絡をお願いします。なお、次週11日(金)に登録料を集めさせていただきますので、ご準備をよろしくお願いいたします。
- 和泉ロータリークラブより例会変更のご案内
10月16日(水)は休会、10月23日(水)・11月27日(水)は18時から夜間例会
- 本日例会終了後、理事役員会を開催致します。関係者の皆様はご出席をよろしくお願いいたします。

委員会報告

- ロータリーの友10月号の読みどころの紹介
(小野寺 巧 会報・IT委員長)
- 皆さんのメールボックスに、前期会費納入のお願いが入っていると思います。会計の名前が うえむら のりひこ 植村 勢彦になりましたので皆様、振り込みの場合は変更をお願い致します。
(植村 勢彦 会計)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
10/4	36名	8名	—	81.82%
9/20	34名	10名	3名	84.09%

■ メークアップ

榎本(9/18 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
小門(9/27 職業奉仕委員会)
植村(9/6 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・八木秀富様、本日は宜しく御願ひ致します(渡辺)
- ・本日クラブフォーラム、八木秀富さんよろしくお願いいたします(松内)
- ・本日クラブフォーラム、八木秀富委員長様よろしくお願いいたします(中田)
- ・前回欠席のおわびです(川端)
- ・欠席、早退のおわびです(寺田)
- ・本日早退のお詫び(小門)

ニコニコ箱合計	18,000円
累計	265,000円

先週のプログラム

クラブフォーラム



八木 秀富 米山記念奨学金委員長

①



②

01 米山記念奨学事業とは？

③

米山記念奨学事業の概要

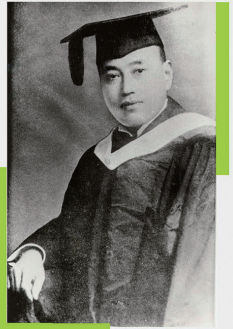
- 日本のロータリー**独自の事業**
(RIが定める多地区合同活動の手続を完了)
- 日本で学ぶ**外国人留学生を支援**
(公益財団法人を設立し運営)
- **世話クラブ・カウンセラー制度**で交流を重視
“人を育てる事業”

④

日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ポール・ハリス氏と同じ1868年に誕生
- ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立
- 私財を投じて小学校（現・青山学院初等部）設立



⑤

「米山基金」から70年



⑥

なぜ10月が米山月間？

- 1975年8月、米山梅吉が逝去し4月28日までの1週間を「米山週間」と設定
- 1980年度、「米山週間」は0月1日～7日へと変更
 - 4月では事業報告が纏まらない
 - 1978年「ロータリーの雑誌週間」4月となり重なる
 - 東京RCから日本全地区クラブの共同事業決定する決議や合意の地区大会で行われた
- 1983年、「週間制度」から「月間」となり10月が「米山月間」として定着

⑦

02 米山奨学生

⑧

奨学金プログラム一覧 2023学年度

奨学金	月額	期間	募集システム	採用数
学部課程	10万円	最長2年	指定校推薦	440人
修士課程	14万円	最長2年	指定校推薦	236人
博士課程	14万円	最長2年	指定校推薦	167人
地区奨励	7万円 10万円(高専専攻科・専修学校高度専門士課程)	1年 最長2年	指定校推薦	22人
クラブ支援	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	6か月/1年	世話クラブ推薦	13人
海外応募者対象	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	2年	公募	18人
海外学友会推薦	14万円	1年	海外学友推薦	4人

⑨

第2640地区の指定校

地区	指定校
大阪南部・和歌山県	2640
	和歌山大学
	大阪公立大学(中百舌鳥)
	大阪芸術大学
	大阪体育大学
	関西大学(堺)
	近畿大学(紀ノ川)
	阪南大学
	桃山学院大学
	高野山大学
	大阪観光大学
	羽衣国際大学
	大阪調理製菓専門学校

⑩

事業の使命

- 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

⑪

世話クラブ・カウンセラー制度

- 奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。
- 奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。

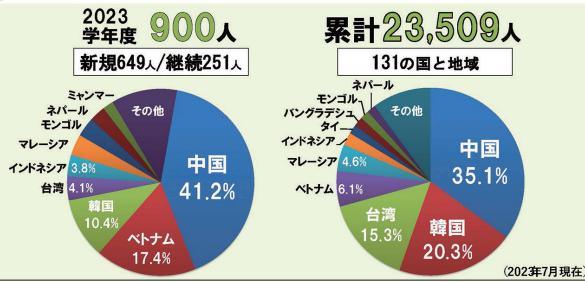
⑫

米山奨学生が行うこと

- 毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、
- 会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。
- 奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。

⑬

国内最大級の奨学生数



⑭

Q なぜ中国人奨学生が多いのですか？

- ✓ 日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生のうち、**47.2%**が中国人
- ✓ 「指定校推薦」= 在籍留学生の国籍割合に比例
- ✓ 各地区選考委員会は偏りをなくすよう努力

⑮

奨学生の選考

採用基準（全国統一）

- ・ 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外



将来の
留学の
目的

交流への
熱意

人間性
の
人柄

コミュニケーション
能力

地区
裁量

⑯

03 寄付金の状況

⑰

寄付は奨学事業に

全体支出の**97%**が事業費

- ・ 2022-23年度は学友からの高額寄付もあり、前年度から7,700万円増



⑱

寄付金の種類

米山奨学会への寄付は寄付金控除の対象です

普通寄付金

- ✓ 財団法人設立時の約束
- ✓ 奨学会の安定財源
- ✓ クラブで決定した金額 × 会員数

特別寄付金

- ✓ 個人・法人・クラブからの任意寄付
- ✓ 1円～OK!
- ✓ 表彰対象

⑲

表彰制度【個人寄付】

NEW

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に)	感謝状 +50万円のみピンバッジ (銀色)
	第2回～9回 米山功労者マルチプル	
100万～390万円	第10回～ 米山功労者 メジャードナー	感謝状 +100万円毎にピンバッジ (金製)
400万円～		感謝状 +100万円毎にクリスタル盾



▲50万円の表彰品（ピンバッジ）

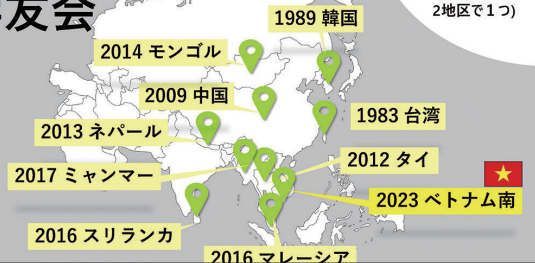
⑳

04 巣立った米山奨学生

㉑

米山学友会

日本国内**33**
(北海道のみ2地区で1つ)



㉔

恩返しの気持ち

学友からの寄付 **1億2,700万円**

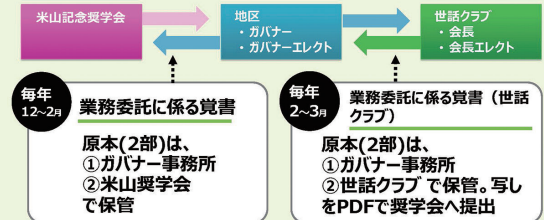
- ・東日本大震災 約760万円
- ・熊本大地震 上海から約20万円
- ・熱海土砂災害 台湾から約150万円
- ・遺言寄付 200万円 など...

毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も

㉕

業務委託・覚書の締結

・2020学年度からスタート、毎年実施



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。
 具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか